

2024年7月期 決算説明会

2024.09.25



【免責事項】

本資料に記載されている予測、見通し、戦略およびその他歴史的事実ではないものは、当グループが資料作成時点で入手可能な情報を基としており、その情報の正確性を保証するものではありません。
これらは経済環境、経営環境の変動などにより、予想と大きく異なる可能性があります。

業績ハイライト

セグメント別ハイライト

	ポイント
連結業績	卵殻膜の「バイオものづくり革命推進事業」への研究開発・設備投資、新製品の開発及び販売チャネルの開拓に注力。研究開発費は978百万円(前期比16.4%増)。
BtoB事業	「ファーマギャバ」が海外で好調継続。医薬品製造受託は、地震で被害を受けるも、増収達成。「睡眠ラボ・血圧ラボ」など自社ブランド流通チャネルの拡大に注力。
BtoC事業	収益性を重視し広告宣伝費の適正化を図る一方、新製品への広告宣伝は強化を図る。関連法令の遵守徹底、広告表現の改善、応対品質向上の強化も継続。
バイオメディカル事業	2021年にライセンスアウトした抗体医薬品候補に関して、田辺三菱製薬(株)がPMDAに初回治験計画届を提出。2024年6月に当社はマイルストーン収入を受領。
中期経営計画2026 新価値創造 1K	サステナブル繊維「オボヴェール」は、近年アパレル業界においてリサイクル繊維への注目が高まっていることから、各種メディアに掲載され注目高まる。

連結売上高

単位:百万円

	2023年 7月期	2024年 7月期	増減
BtoB事業	8,418	9,108	8.2%
BtoC事業	59,788	52,543	▲12.1%
バイオメディカル事業	343	478	39.4%
その他	21	16	▲24.5%
合計	68,572	62,147	▲9.4%

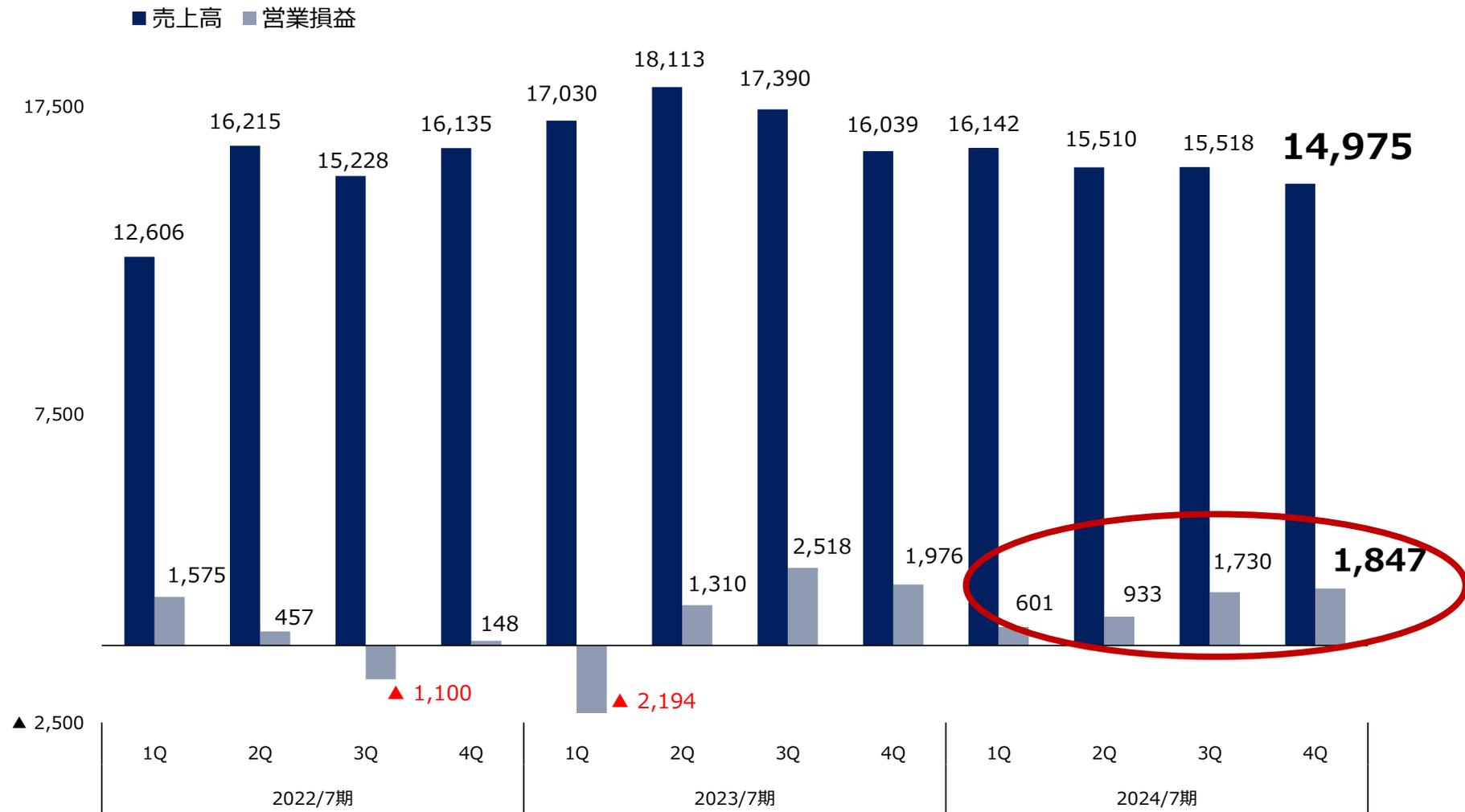
連結営業利益

単位:百万円

	2023年 7月期	2024年 7月期	増減
BtoB事業	1,301	1,573	20.9%
BtoC事業	3,746	5,325	42.2%
バイオメディカル事業	▲278	▲272	5
その他	▲5	▲16	▲11
調整額(全社費用等)	▲1,154	▲1,495	▲341
合計	3,610	5,113	41.6%

四半期業績推移

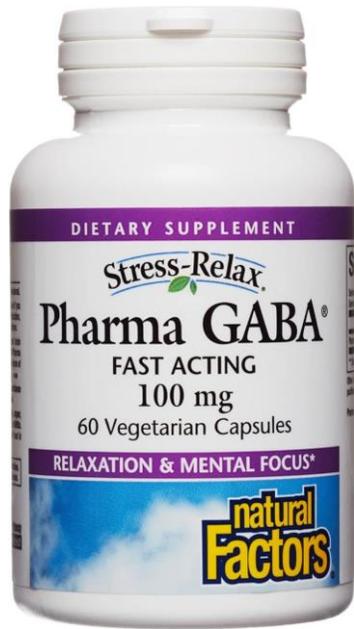
単位:百万円



投資の適正化により、全ての四半期において営業黒字を達成。

BtoB事業

ファーマギャバ、北米中心に海外が伸長し、14%増



Natural Factors



Thorne Research



Design for Health

タイ大手メーカー、大手ブランドでも採用



OSOTSPA



CORO



Bomi

GABAは海外好調、工場設備は地震被害も増収達成

アイテム別売上高

	2022/7期					2023/7期					2024/7期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
機能性素材	252	431	391	633	1,708	375	440	564	620	2,002	504	441	729	912	2,588
機能性製品	252	169	242	261	925	289	484	449	145	1,368	199	172	153	215	741
CMO	-	1,672	948	1,021	3,642	892	1,104	1,076	1,117	4,190	1,151	1,068	1,175	1,251	4,646
CHC	-	869	466	465	1,801	312	172	294	78	857	377	254	277	221	1,130
合計	504	3,143	2,048	2,382	8,079	1,869	2,201	2,384	1,962	8,418	2,233	1,938	2,336	2,600	9,108

- ※ 機能性素材 : PharmaGABA、ボーンペップ等
- ※ 機能性製品 : OEM、越境EC、自社ブランド製品などの最終製品を主にBto[BtoC]チャンネルで販売
- ※ CMO(Contract Manufacturing Organization) : 医薬品製造受託機関
- ※ CHC(Consumer Health Care) : ドラッグストアでの医薬品及び機能性食品等の販売

機能性素材は「ファーマギャバ」が海外で好調継続。医薬品製造受託は、「令和6年能登半島地震」で被害も、通常稼働へ回復。受注前倒しもあり、増収達成。

機能性製品・CHCは、「睡眠ラボ・血圧ラボ」など自社ブランド流通チャンネルの拡大に注力。

機能性表示食品受理件数

関与成分別受理件数ランキング

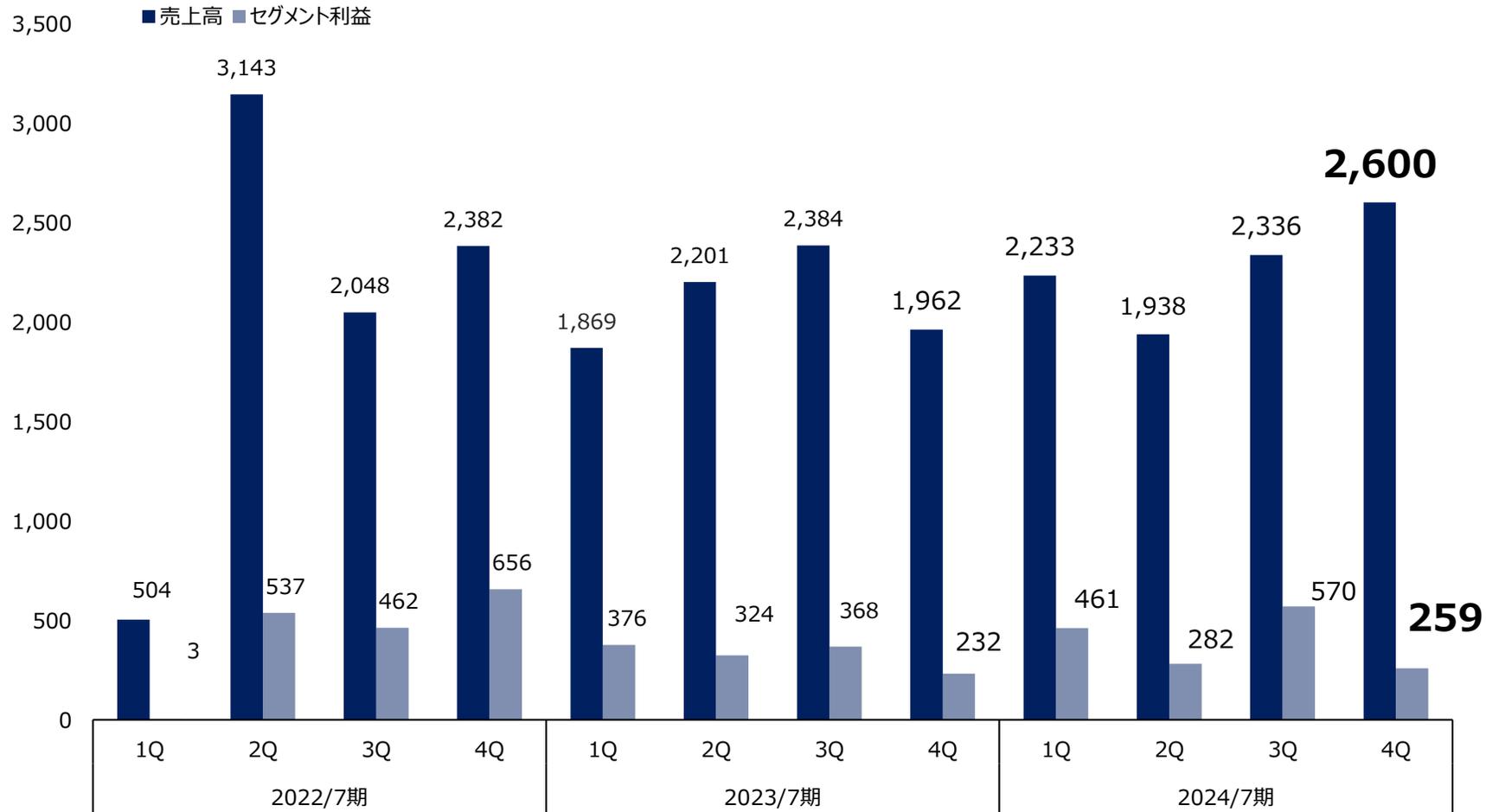
(件)

順位	機能性関与成分	受理数
1	GABA	1,211
2	難消化性デキストリン	507
3	ルテイン・ゼアキサンチン	465
4	ビフィズス菌	439
5	DHA/EPA	369
6	ブラックジンジャー由来ポリメトキシフラボン	352
7	イヌリン	224
8	イチョウ葉(フラボノイド配糖体、テルペンラクトン)	211
9	アスタキサンチン	191
10	葛の花由来イソフラボン	179

2024.9.4 現在 当社調べ

四半期業績推移

単位:百万円



主力の機能性素材及びCMOが堅調に推移し、売上及び利益に貢献。
 自社ブランド製品育成のため、販路拡大への取り組みに引続き注力。

BtoC事業

ニューモに続く新たな製品群

「BODY-GA」

累計出荷 **20万本**突破



2024.9.12 現在

「ニューZ」

累計出荷 **94万本**



2024.9.19 現在

「DRcula(キュラ)」

累計出荷 **298万本**



2024.9.19 現在

「WMOA」

累計出荷 **300万個**



2024.8.29 現在

「ニューモ育毛剤」

累計出荷 **2,800万本**



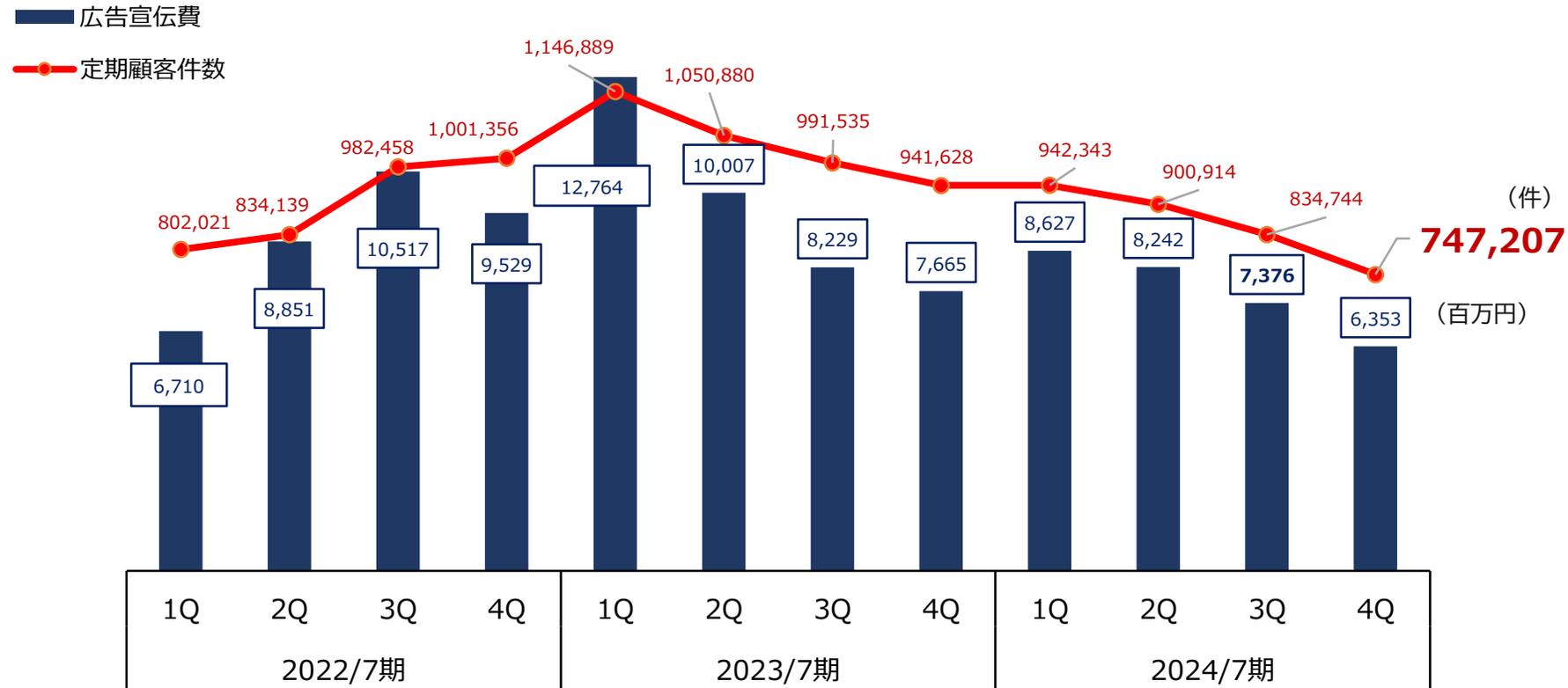
2024.8.27 現在

2023年 **歯磨き粉市場**(通販部門)
売上No.1

4年連続 **ヘアケア**(頭髪化粧品)全般
売上日本一

※TPCマーケティングリサーチ調べ

広告宣伝費と定期顧客件数



主要製品の定期顧客件数

化粧品

まつげ美容液 : 40,886
 カラーシャンプー : 20,383

医薬品・医薬部外品

ニューモ育毛剤 : 284,879
 ニューZ : 56,497
 キュラシリーズ : 84,751
 ラクトロン錠 : 34,342

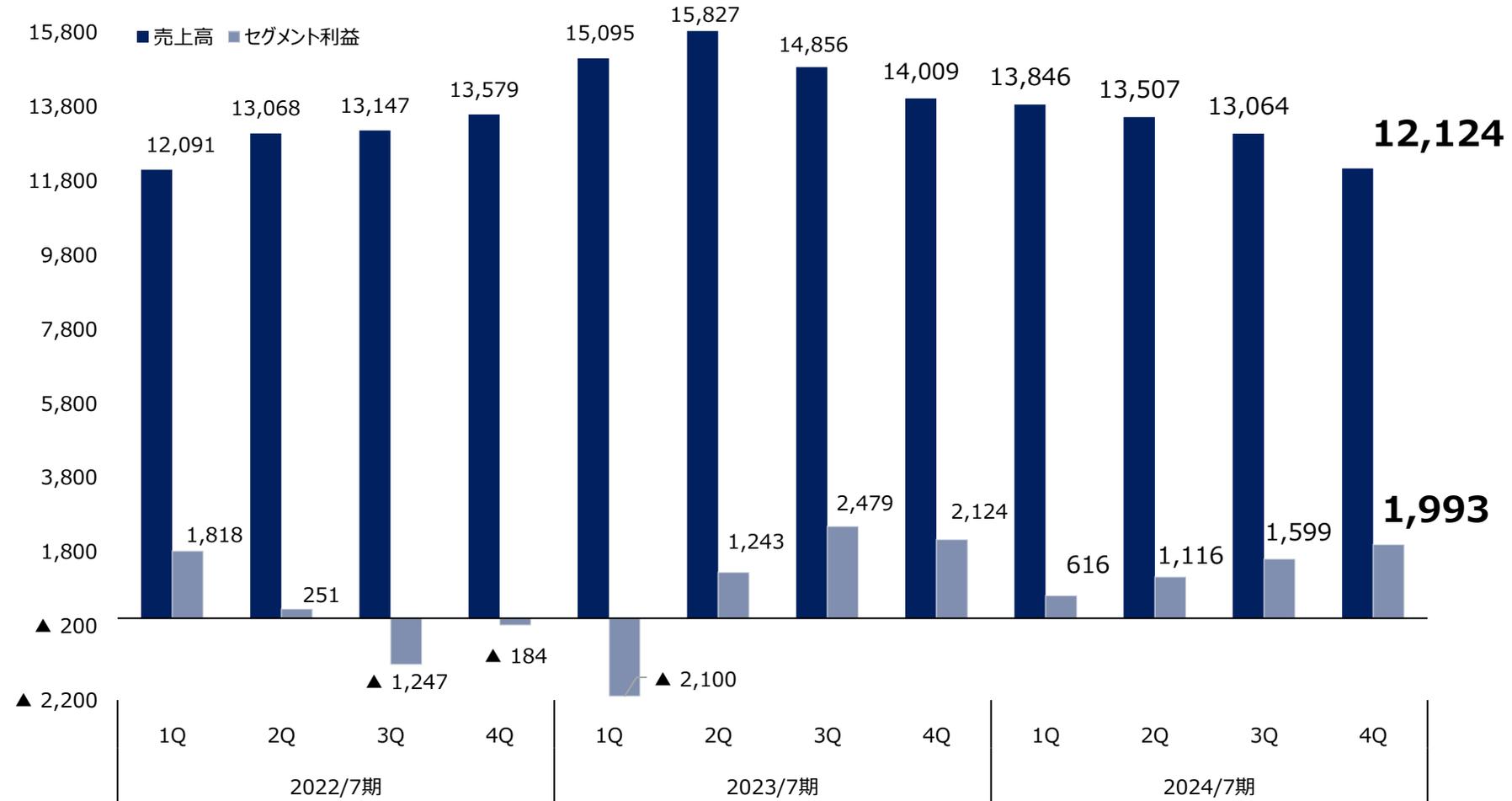
サプリメント

シボラナイト2 : 27,301
 タマゴサミン : 25,232

既存製品の減少を、ニューZなど新製品の育成により補完していく。

四半期業績推移

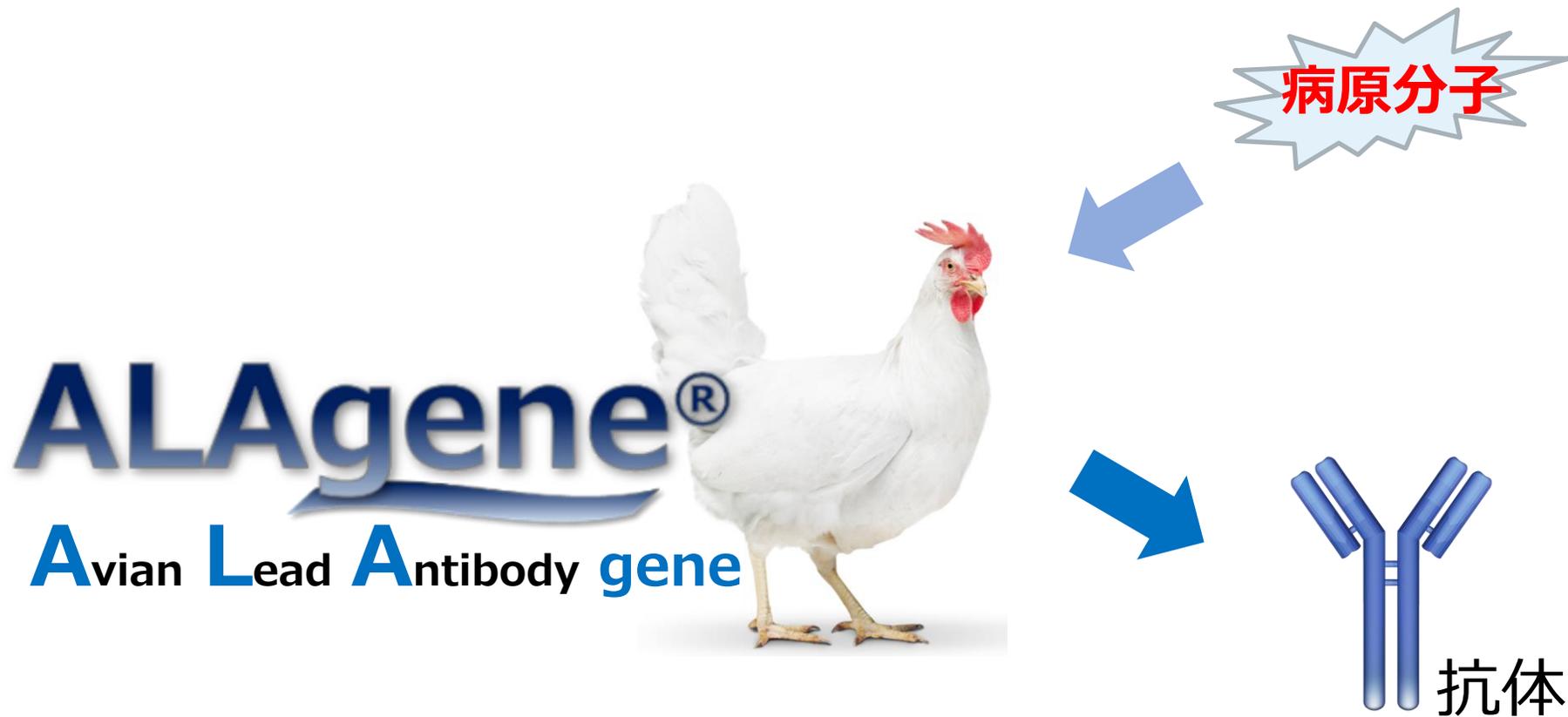
単位:百万円



収益性を重視し広告宣伝費の適正化を継続する一方、再度トップラインの成長を目指し、新製品への広告宣伝は強化する。

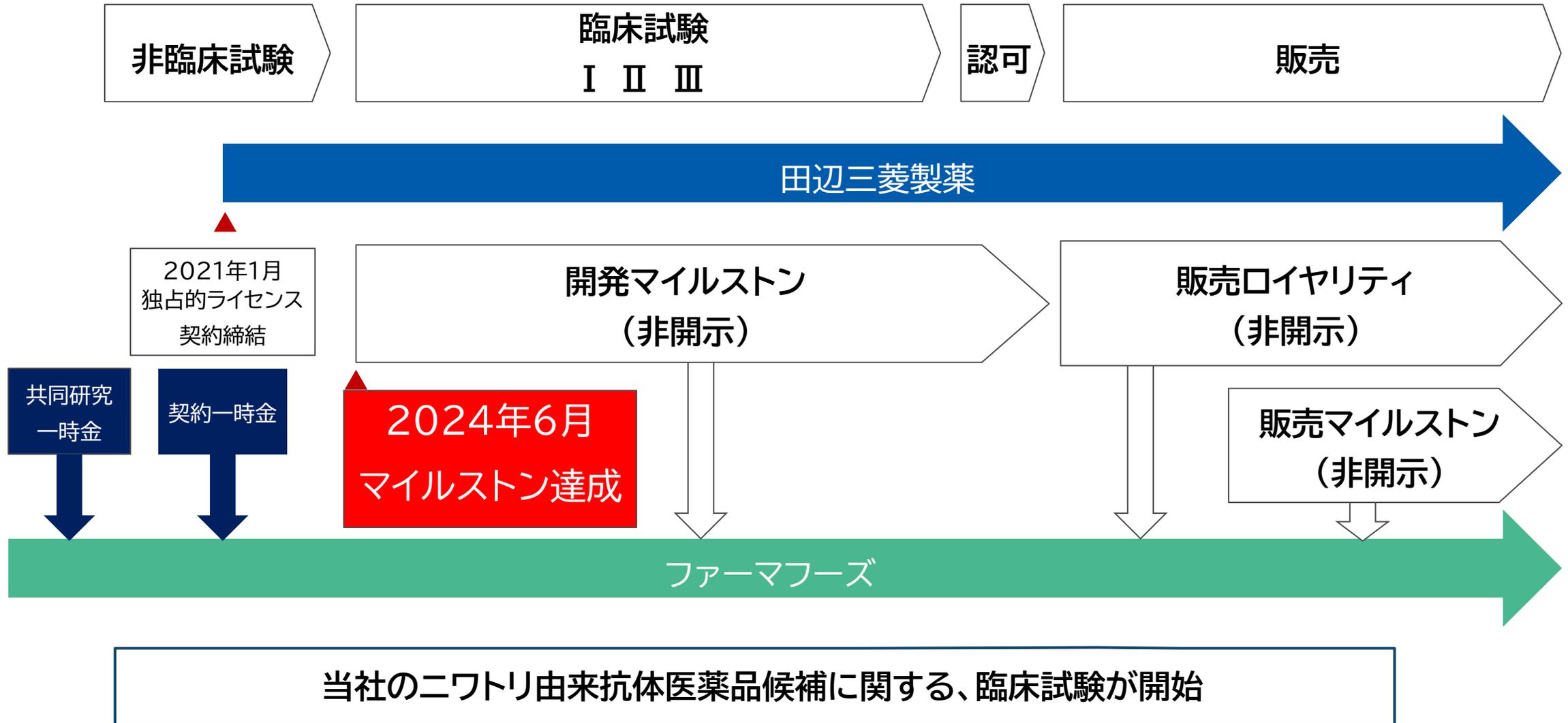
バイオメディカル事業

“ニワトリ”から抗体医薬品を作る



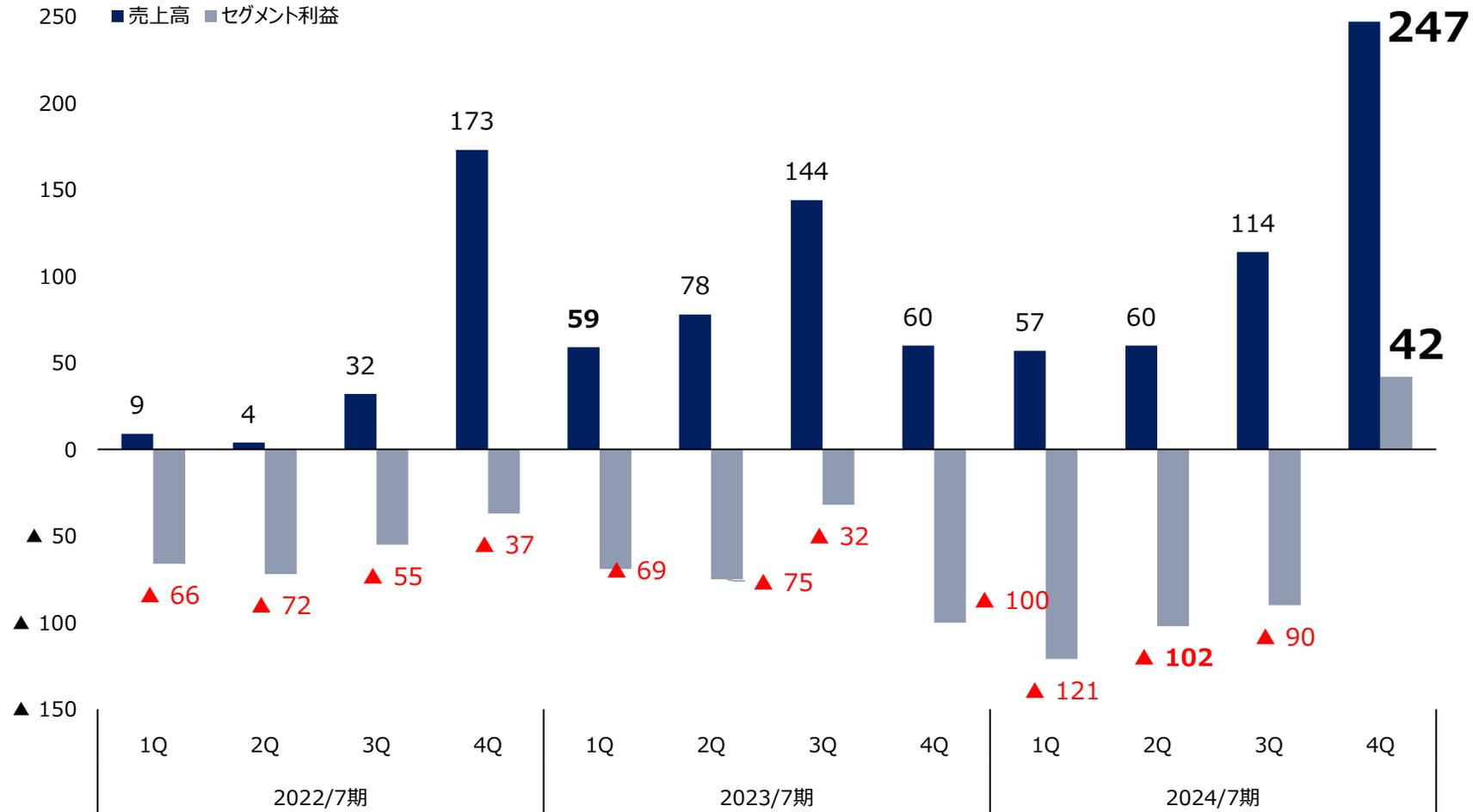
ニワトリから高性能な抗体医薬品をつくる当社独自の「アラジン テクノロジー」

田辺三菱製薬とのライセンス契約に基づくマイルストーン達成



四半期業績推移

単位:百万円



マイルストーン収入により四半期黒字化。「自己免疫疾患」、「がん」、「炎症性疾患」等の研究開発を継続

2025年7月期の業績予想について

挑戦的な投資を開始していく

単位:百万円

	2024年 7月期	2025年7月期 予想
売上高	62,147	65,000
営業利益	5,113	2,000
経常利益	5,249	2,300
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,205	1,600

「2025大阪・関西万博」、「経産省・卵殻膜バイオものづくり事業」、「FDA Gras対応試験」、「新成分配合医薬品ニューモ開発」など、将来への投資を開始していく。

株主還元

	2024年 7月期	2025年 7月期予想
一株あたり 年間配当金	25円	25円
配当金総額	7.01億円	7.01億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	32.05億円	16.00億円
配当性向	21.9%	43.9% [※]
自己株式取得	10億円	—
総還元性向	53.1%	43.9% [※]

※ 2024年9月12日発表の業績予想の親会社株主に帰属する当期純利益に基づく

株主還元方針

当社は、企業の成長性と収益性を両立させる事業方針の下、研究開発、広告宣伝及びM&A等に対する積極的な投資を拡大させながら、株主様に対する還元策として配当等を積極的に充実させていくことを基本方針としております。この方針の下、成長投資の推進、財務健全性の確保及び株主還元の強化のバランスを考慮し、自己株式取得を含む総還元性向20%を株主還元策の目安としております。

中期経営計画2026の進捗

自社ブランド製品、新たな販路拡大中



2024年4月発売
睡眠ラボ 血圧ラボ

2024年9月27日 発売予定
睡眠ラボ 血圧ラボ

全国のスーパーマーケットを中心に販路を拡大中。

FDA Gras認証取得後を見据え、研究開発強化及び販売体制を構築中



ファーマフーズ 海外事業責任者
クルカルニ アディッティヤ



FDA
Dr. Craig Llewellyn

FDA承認後、ファーマギャバが大手飲料メーカーに採用された場合、年間60t前後の使用が見込まれる

次世代サステナブル繊維ovoveil、エコプロアワードで優秀賞

環境面での評価

従来再利用できなかった卵殻膜を、高付加価値な繊維製品へアップサイクル

社会面、経済面での評価

様々なステークホルダーとの協働による新たな市場開拓への取組み



※主催：一般社団法人サステナブル経営推進機構、後援：財務省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、金融庁、特別協力：日本経済新聞社



卵殻膜バイオものづくり事業、量産に向け設備投資



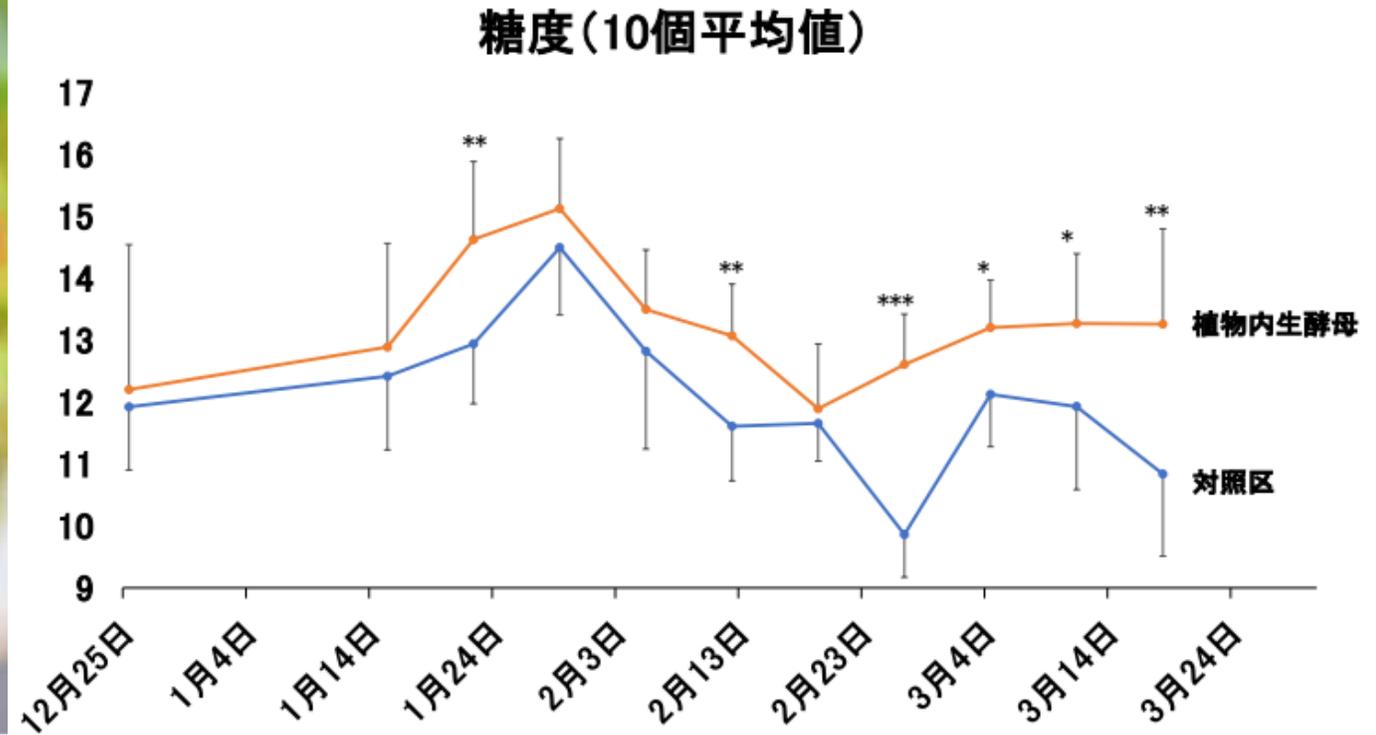
紡糸機

2025年販売開始に向けて製品化進む



原料販売だけではなく、アパレルブランドも目指す

イチゴの糖度が平均1.1度上昇



水稲、大手商社と協業を開始、東北6箇所での大型圃場試験を実施中



白未熟粒の発生が1/6に軽減

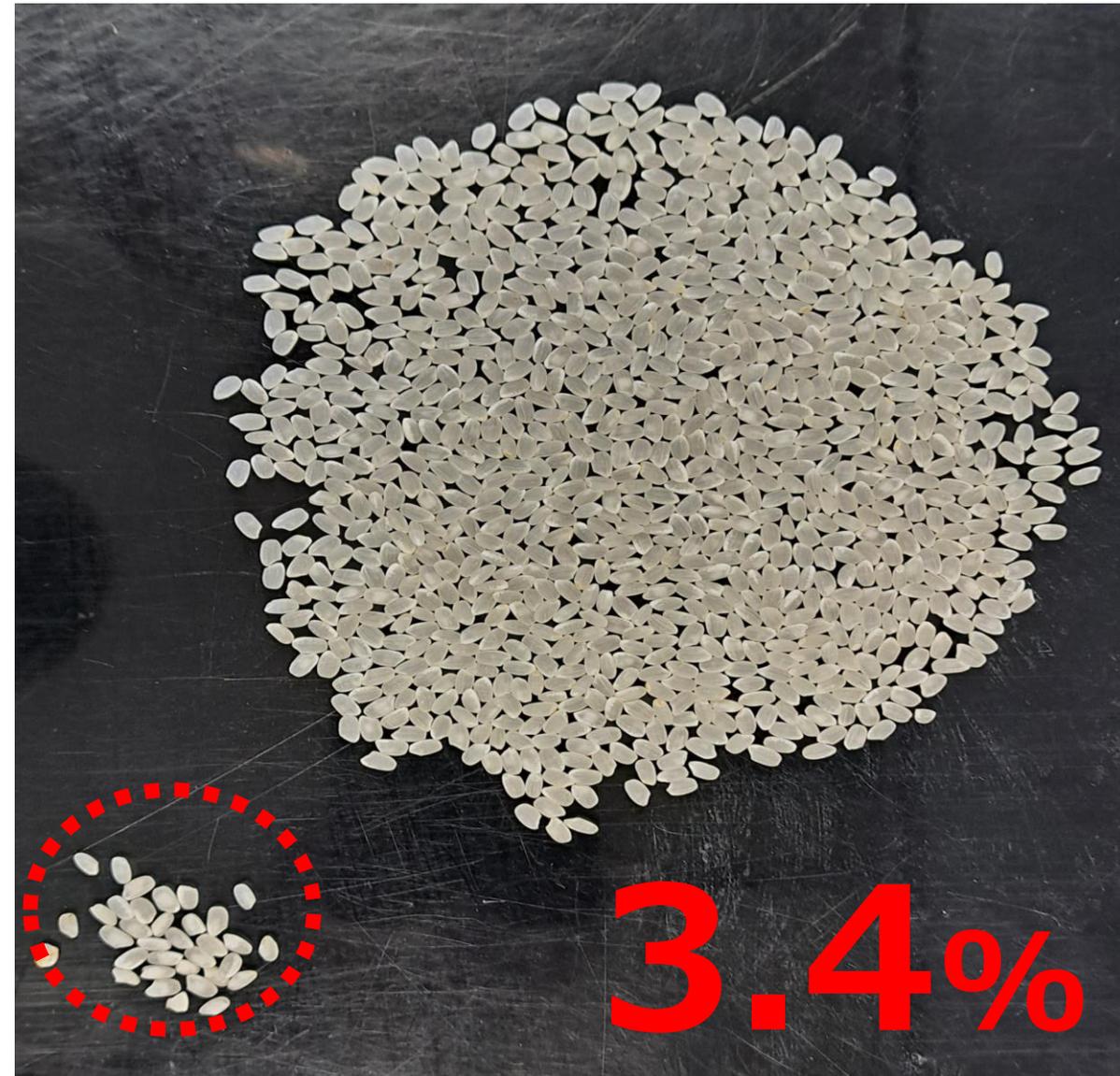
正常→

白未熟



20%

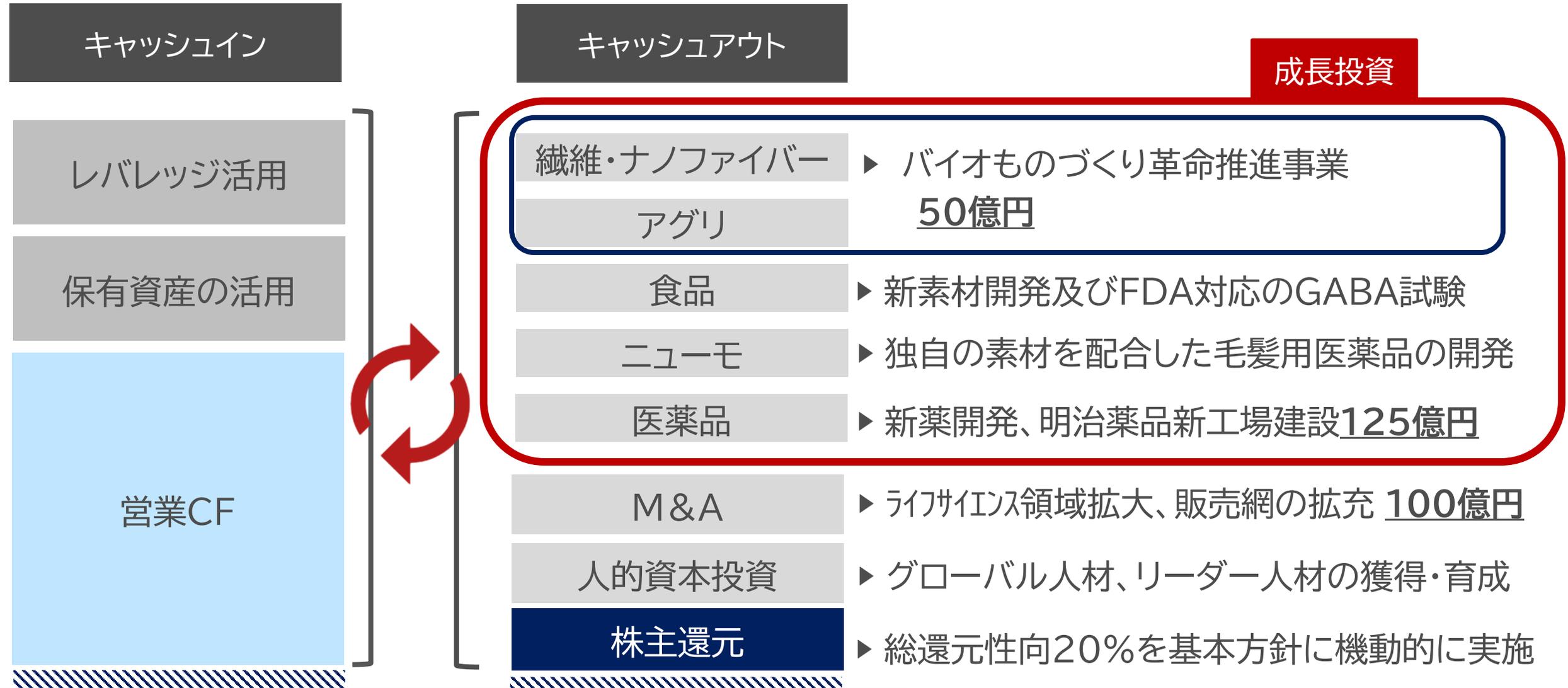
通常栽培



3.4%

PF酵母

今後5年間で300億円規模の挑戦的な投資を開始



▼ 投資成果による営業CFの増加分を事業投資と株主還元へ再配分